

社会情勢の変化・課題

- 知識基盤社会の到来
- グローバル化の進展
- 経済的格差の拡大
- 少子高齢化・人口減少
- 地域医療の充実

育てたい力

社会を生き抜く力

- ・ 知識・技能など基礎的な力とそれに基づいて課題を解決する力
- ・ 他と協働して課題に立ち向かうための実践力

高い志

- ・ 様々な課題に積極的に関わろうとする意欲
- ・ 世界へはばたく気概とふるさと秋田を県内外から支える自覚

学校づくり

- 生徒数減少にあっても人材育成を確実に進めるために高等学校の再編整備を推進
- 生徒が勉強やスポーツ等に打ち込むことのできる充実した教育環境の整備と活力に満ちた魅力ある学校づくりを推進

10年間の計画



※必要に応じて見直しを行い、後期計画(平成33年度～37年度)を策定

I 社会を生き抜く力と高い志を育てる教育活動の推進

1 生徒の社会的・職業的自立を目指し、社会に貢献する意識を高める取組の推進

- 確かな学力を育成し、生徒一人一人の能力・個性を伸ばす取組の推進
 - ① キャリア教育の視点に立った確かな学力の育成
 - ② 多様な生徒に応じた教育の推進
 - ③ 情報活用能力等を高める教育の推進
- 社会的・職業的自立に向けたキャリア教育の推進
 - ① キャリア教育の全体計画に基づいた教育活動の実践
 - ② インターンシップやボランティア活動等体験的な活動の更なる充実
 - ③ 個に応じた進学・就職支援体制の充実
 - ④ 主権者教育の推進
- 学力向上を目指した魅力ある授業の実践
 - ① 到達目標を明確にした、生徒の思考力等を高める授業の実践
 - ② 教科内で組織的に取り組む授業づくりの推進
 - ③ キャリア教育を踏まえた学習指導の充実
- 教員の資質能力の向上を図る研修の推進
 - ① 授業力向上を目指す研修の充実
 - ② 関係機関等と連携した実践的研修の充実
 - ③ 生徒一人一人にきめ細かく対応するための研修の充実

II 活力に満ちた魅力ある学校づくりの推進

1 全日制課程における学校規模の適正化と望ましい配置の実現

詳細は裏面

2 定時制課程・通信制課程の改善と整備

- 多様な学習ニーズに応える定時制課程・通信制課程の充実
 - ① 大館鳳鳴高校定時制課程（県北地区定時制基幹校）と角館高校定時制課程の充実
 - ② 通信制課程の充実
 - ③ フリースクールの空間（スペース・イオ）の充実
 - ④ 生徒のニーズや社会の変化を踏まえた定時制課程の一層の改善・充実
- 生徒一人一人の学びを支援し、自立を目指す教育活動の推進
 - ① キャリア教育の一層の充実
 - ② 「学び直し」の取組の充実
 - ③ 特別な支援を必要とする生徒への対応の充実

2 グローバルな視野で考え、行動できる人間を育成する取組の推進

- 国際教育と国際交流活動の推進
 - ① 国際教育の推進
 - ② 継続的な国際交流活動の充実
- グローバル化に対応した外国語教育の推進
 - ① 英語コミュニケーション能力の向上を目指す取組の推進
 - ② 韓国語、中国語、ロシア語など、第二外国語の授業の充実
 - ③ 国際教養大学・秋田大学など、大学等との連携による外国語教育の充実

3 地域との連携に基づく、教育資源の有効活用の推進

- 地域の様々な教育資源の積極的な活用
 - ① 高校間連携及び小学校・中学校・特別支援学校との連携
 - ② 県内外の大学との連携
 - ③ 地域や企業と連携した教育活動や就職支援の充実
 - ④ 関係機関との連携による、生徒への支援の強化と文化活動の充実
- 地域の一員としての意識やふるさとを愛する心を育てる教育の推進
 - ① 地域産業の発展に貢献しようとする意識を高める活動の充実
 - ② 地域での体験活動等の推進と地域への貢献
 - ③ 防災教育・訓練の充実
 - ④ 環境保全への意識の向上

3 中高一貫教育の充実

- 6年間の計画的・継続的な教育活動の推進
 - ① 成果と課題の検証及びそれを踏まえた教育活動の一層の充実
 - ② 中高一貫教育校としての教育効果をより高めるための、6年間を見通した計画の充実
- 中高一貫教育校の特徴を生かした魅力ある学校づくりの推進
 - ① 秋田南高校・秋田南高校中等部における特色ある教育活動の推進
 - ② 大館国際情報学院中学校・高校における特色ある教育活動の推進
 - ③ 横手清陵学院中学校・高校における特色ある教育活動の推進
 - ④ 県内の中高一貫教育校の連携の強化
 - ⑤ 県立中高一貫教育校に関する積極的な情報発信

4 社会の変化に柔軟に対応し、生徒の多様な能力を伸ばすための学科の改善・充実

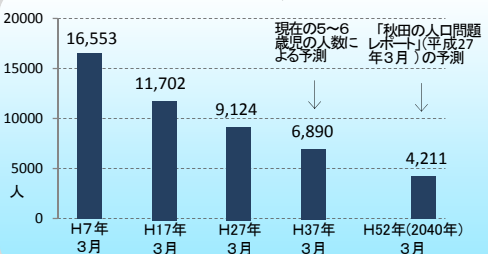
普通、農業、工業、商業、水産、家庭、福祉、情報、理数、英語・国際、総合の各学科の改善と充実

なぜ再編整備が必要ですか

少子化に負けない秋田の教育

生徒数が減少する中であっても、高校生がそれぞれの目標を実現し、社会的・職業的に自立できるような教育環境を整え、教育の質を高めていく必要があります。「活力に満ちた魅力ある学校」づくりを推進し、我が国やふるさと秋田を支える人材の育成に努めます。

中学校卒業生数の減少



どのような方針で進めますか

- 進学に関する指導体制の充実
 - 各地区の進学の中心校としての役割を担う学校は、一定の学級数を維持することが望ましい。
- 農業と工業の専門教育の充実
 - 農業と工業の専門高校及び農業科や工業科等をもつ高校は、互いに連携しながら産業人材の育成を進める。
 - 農業と工業の中心的な専門高校は一定の学級数を維持することが望ましい。
- 統合等再編整備においては、魅力ある学校を設置するため、2～3校を発展的に統合し、新たに統合校を開校することを基本とする。
- 1学年2～3学級規模の小規模校について
 - 近隣の学校との統合を基本とする。
 - 統合が難しい場合は近隣の学校の「地域校」(1学年1学級規模)とする。入学者数の減少が著しい場合は、下記の基準に沿って対応する。
 - 全県的な視野から特別な事情があると考えられる学校については、計画的な地域校化は行わず、下記の基準に沿って対応する。

基準

 - 1学年2学級規模の学校において、入学者数が募集定員の2/3以下の状態が2年間続いた場合、原則として地域校化や統合、募集停止等とする。
 - 地域校においては、入学者数が募集定員の2/3以下の状態が2年間続いた場合、原則として募集停止とする。
- 現在ある分校については募集停止とする。

各地区ごとの構想(案)の概要



関係者との調整を進め、準備が整ったところから順次、事業に着手します。



統合など一定の時間を要する事業については、長期的な展望をもってスケジュールを策定します。

鹿角小坂

鹿角小坂地区統合校

地域に根ざした特色のある教育活動を展開するとともに、多様なコースを設定して生徒の進路実現を図り、地域社会や国際社会で活躍できる人材を育成する学校を設置する。

統合対象は花輪高校、十和田高校、小坂高校とする。1学年の学級数は5～6学級、学科は普通科などを今後検討する。校舎設置場所については、地元と協議の上、地域の実情、校舎や施設設備の状況等を考慮して決定する。

能代山本

能代地区統合校

工業や農業を学ぶことができ、生徒の社会的・職業的自立を目指すとともに、身に付けた技術・技能によって地域産業を担い、地域に貢献する人材を育成する学校を設置する。

統合対象は能代工業高校、能代西高校とする。校舎設置場所は現能代工業高校敷地とする。現能代西高校農場の一部を活用して実習を行うことを検討する。また、校地拡充については能代市と協議を進める。

能代高校昼間の部定時制課程

生徒の多様な学習ニーズや進路希望に対応しながら基礎学力の確実な定着やキャリア教育に取り組む、昼間の部定時制課程を設置する。

再編対象は二ツ井高校、能代工業高校定時制課程とし、能代高校に併設する普通科(1学年1学級)の昼間の部定時制課程とする。通学の利便性や校舎の有効活用を考慮し、現二ツ井高校に設置する。設置する時期については、当地区の統合等再編整備の進捗状況を踏まえて検討する。

男鹿湯上南秋

男鹿地区統合校

地域に根ざした特色ある教育活動を展開し、地域産業に貢献できる人材育成を目指す学校を男鹿地区に設置する。

統合対象は男鹿海洋高校、男鹿工業高校とする。1学年の学級数は5学級、学科は工業科、水産科などを今後検討する。一定期間、現在の両校の校舎を使用し(2キャンパス制)、その後については、地域の実情、校舎や施設設備の状況等を考慮して決定する。

【五城目高校】
今後もキャリア教育をベースにした指導や地域と連携した教育活動の充実を図る。生徒数減少により2学級規模を維持できなくなった場合は、左記基準により対応する。

由利本荘にかほ

由利本荘にかほ地区統合校

生徒数減少が他地区と比較してやや緩やかであり、現時点で沿岸部の学校はすべて適正規模を上回っていることを踏まえ、統合等再編整備については時間をかけて検討を進める。しかし、生徒数の長期的な減少傾向や校舎の老朽化を考えた場合、将来的に、2～3校を統合して活力に満ちた魅力ある学校を設置することが必要である。このため、西目高校、仁賀保高校及び由利工業高校を視野に入れて、目指すべき学校の在り方、設置形態、設置場所、設置時期などについて関係者との調整を図りながら統合の検討を行う。計画の前期期間中に検討を進め、後期計画に具体的な構想案を示すこととする。

【矢島高校】
今後も校舎一体型の中高連携校としての先進的な取組を進め、生徒一人一人に応じたきめ細かい教育活動を充実させる。生徒数減少により2学級規模を維持できなくなった場合は、左記基準により対応する。

大仙仙北

【西仙北高校】 入学者数の状況を踏まえた上で、学校規模を縮小して近隣校(大曲高校)の地域校とするか、特別な事情を考慮し、左記基準により対応する学校とするか検討を進め、具体的な構想案を後期計画に示す。

【六郷高校】 今後も地域と連携した教育活動と生徒一人一人の進路実現を目指す指導の充実を図る。生徒数減少により2学級規模を維持できなくなった場合は、左記基準により対応する。

【大曲農業高校太田分校】 地区全体で少子化が進む中で定員割れが続いており、将来的に一層小規模化が進むことが予想されるため募集停止とする。時期は計画期間中を目途として検討する。

横手

横手地区統合校

幅広い視野と豊かな教養を身に付け、地域社会や国際社会で活躍できる人材を育成する学校を設置する。

統合対象は増田高校、雄物川高校、平成高校とする。1学年の学級数は5～6学級、学科は総合学科や普通科などを今後検討する。校舎設置場所については、地元と協議の上、地域の実情、校舎や施設設備の状況等を考慮して決定する。

湯沢雄勝

【雄勝高校】 前期期間中に湯沢翔北高校の地域校とし、小規模校の利点を生かした指導や地域と連携した取組等により、生徒の社会的・職業的自立を目指す教育の充実を図る。学科は普通科(1学年1学級)とする。

【羽後高校】 入学者数の状況を踏まえた上で、学校規模を縮小して近隣校(湯沢高校)の地域校とするか、特別な事情を考慮し、左記基準により対応する学校とするか検討を進め、具体的な構想案を後期計画に示す。

【湯沢高校稲川分校】 長期に渡って大幅な定員割れが続いており、平成29年度入学者選抜から募集停止とする。

統合等再編整備により活力に満ちた魅力ある学校づくりを進めます